

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

6 月号

2026
vol.719



P 03-06

特集 国際交流委員会 中東での国際ビジネスの可能性を探る
エジプト・ドバイの視察報告

P 07-09 21世紀型自立型企业づくり

モノづくりの先にある笑顔を大切に ～会社の方向性を共有する～

有限会社 佐藤工業所

代表取締役 佐藤 晃壽 氏(中央支部)

専務取締役 佐藤 美智子 氏(西支部)



福岡県中小企業家同友会
月刊同友の
バックナンバー

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYOU



福岡県中小企業家同友会



国際交流委員会

中東での国際ビジネスの可能性を探る

エジプト・ドバイの 視察報告

国際交流委員会委員長 明永 稔(東支部)

毎月の勉強会

海外ビジネス展開と海外人材の活用を中心テーマとして取り上げ、実践的な知識と最新情報を学べる場となっています。

活動の三本柱

留学生との交流会

将来の国際人材とのつながりを育みます。

海外ミッション

現地企業・大学・政府機関を訪問し、リアルな海外ビジネスの現場を体験します。

国際交流委員会とは…
福岡同友会・国際交流委員会は、海外に関する知識やネットワークを持たない方でも国際化の第一歩を踏み出せるように設計された委員会です。海外ビジネスの経験がない経営者でも理解できるよう、基礎的な情報提供から実践的な学びまで段階的に取り組める内容を大切にしています。

委員会の目的は、会員企業の国際化に役立つ情報提供や勉強会、外国

企業との交流、行政・国際関連団体との連携を通じて、海外事業に挑戦しやすい環境をつくることです。人口減少や人材不足が進む中、海外市場への挑戦や外国人材の活用は中小企業にとって重要なテーマですが、資金・法律・商習慣・言語といった壁があり、個社だけで取り組むには難しさがあります。当委員会では、こうした課題を共有し、仲間とともに学びながら解決策を探る場を提供しています。

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

同友会 3つの目的

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。



有限会社 佐藤工業所

代表取締役 佐藤 晃壽 氏 (中央支部)

専務取締役 佐藤 美智子 氏 (西支部)



私が佐藤晃壽さん&美智子さんを

ご紹介いたします!

有限会社福創工業

代表取締役

板橋 優
(福友和支部)

佐藤晃壽さんとは、私のもと所属していた草野球チームに加入してきたのをきっかけに知り合い、お互い鉄工所の後継者ということですが仲良くなりました。それから二人で婚活に勤しみ、とある飲み会で美智子さんと知り合いました。美智子さんの気さくで明るい性格もあってすぐに我々と仲良くなり、最初二人はとも仲の良い友達といった感じでしたが、次第に将来のパートナーとしてお互いを意識するようになり2010年に結婚。夫婦になっても仲の良さは相変わらずで、今でも二人と話しているとこちらもほっこりとした気持ちになります。

2013年の中央支部40周年記念行事をきっかけに同友会に勧誘し、それから夫婦で入会。

入会後は所属支部、他支部、そして委員会や全国行事などで積極的に学び続け、現在は自社で開発した「車中泊キット」の販売促進に精力的に取り組んでいます。現在は美智子さんは西支部、私は福友和支部に移籍してそれぞれ違う支部に所属となりましたが、それでも以前と変わらず情報交換や相談などで顔を合わせています。

二人の素敵なところは一言で表現すると「傾聴の姿勢」。悩みや相談を親身になって聞いてくれます。

「みんなを幸せにしたい」という思いを根幹に据えた自社経営はまさに同友会が大切にしていく「人を生かす経営」に大きく通じています。私もこれからも二人と共に同友会での学びを深めていきたいです。

現場からひとこと



筑紫野市の佐藤工業所に訪問しました。今回はダブルインタビューで、ご夫婦でそれぞれ中央支部、西支部で熱心に学んでいるのがわかる取材でした。全国行事や他県会員訪問もご夫婦で参加されている姿が印象的です。晃壽さんは経営の方向をバシッと決め、美智子さんが社員のみなさんをうまくまとめる母のような、お二人のいい連携が取材中にも感じました。最後に工場見学もさせていただき、社員みなさんと写真撮影も行いました。まるで家族写真のような素敵な写真が撮れました。(8Pに掲載)

撮影・文/同友会事務局 長尾裕美

詳しくは7ページ「21世紀型自立型企业づくり」へ!

なぜエジプトなのか

国際交流委員会ではこれまで、シンガポール、ミャンマー、ロシア、スリランカなど、福岡の中小企業が今後ビジネスを展開するうえで市場性が期待できる地域を中心に海外



ミッションを実施してきました。

今回のエジプト・ドバイミッションは、委員長である明永が「中東は今後の国際ビジネスにおいて大きな可能性を持つ地域である」と強く感じたことが出発点となりました。人口増加が続く巨大市場であること、若い世代が多く起業家精神が旺盛であること、アフリカ・中東のハブとして地政学的に重要な位置にあることなど、福岡の中小企業にとって新たなチャンスが広がる地域だと判断しました。

さらに、エジプトにはAUC（アメリカン大学カイロ校）を中心としたスタートアップエコシステムが形成されており、JICAをはじめ日本との関係も深く、現地でのビジネス連携や人材交流の可能性が高いことも大きな理由です。

これらの要素が重なり、今回のミッションは「中東市場を知るための第一歩」として企画されました。本ミッションは、2026年2月3日から2月9日までの7日間の日程で実施しました。

JICAエジプト事務所
ブリーフィング



ることができました。

今回のミッションの中でも特に重要だったのが、JICAエジプト事務所の訪問です。JICAはエジプトにおいて、インフラ整備、教育、人材育成、医療、産業支援など多岐にわたる協力を展開しており、日本

の国際協力の「現場」を直接確認する貴重な機会となりました。カイロメトロ4号線、電力・配電網の高度化、エジプト日本科学技術大学（EJUST）、エジプト・日本学校（EJS）など、日本の支援は単なるインフラ整備にとどまらず、制度構築や人材育成まで含む総合的なものです。

投資促進アドバイザー村上氏からは、若年人口による市場成長性、湾岸諸国からの大型投資、規制・為替リスク、そして「インシャーラ」に象徴される商習慣の違いなど、エジプト市場の「可能性とリスク」を率



JICAエジプト事務所の入口にて



大エジプト博物館ツタンカーメン

エジプトミッションの
行程と成果

今回の視察は、ドバイを経由してエジプトを訪問し、経済・産業・教育・文化を多角的に確認する内容となりました。経由地であるドバイでは、国際ハブ都市としての都市機能や外国企業誘致の仕組みを簡単に確認し、中東地域の物流・金融の中心としての存在感を感じました。

エジプトでは、まずギザの三大ピラミッドとスフィンクスを視察し、古代文明の圧倒的なスケールと歴史



2011年民主化革命（アラブの春）の重要な役割を果たした
アメリカン大学においてのモニュメント

直に学ぶことができました。JICA訪問は、エジプトを理解するうえで最も本質的な視点を得られた訪問となりました。

さらに、アメリカン大学カイロ校（AUC）Venture Labの訪問では、エジプトの高度人材とスタートアップエコシステムの実態を深く知ることができました。AUCはアメリカ型の非営利大学として運営されており、教授陣の質が高く、学生の英語力や国際的な視野も非常に優れています。特に印象的だったのは、半導体やAIチップなどハード系技術の強さ、大学発スタートアップへの投



スフィンクスの前で記念撮影

の深さを体感しました。続いて訪問した大エジプト博物館（GEM）では、日本の円借款と技術協力により建設が進められている現場を確認し、保存修復技術や展示品質に日本の専門家の貢献が色濃く反映されていることを実感しました。古代文明の象徴と日本の国際協力の成果を同日に確認できたことで、エジプトの「歴史」と「未来」をつなぐ視点を



大学構内の案内

資の活発さ、そして日本企業との共同研究・技術協力への強い関心でした。

AUC側からは、日・米・エジプト三国連携のMOU、企業ニーズから逆算したスタートアップ創出、共同ワークショップの開催など、具体的な提案が複数示され、日本の中小企業でも関与できる余地が大きいことを実感しました。

AUC訪問は、エジプトの「若い市場の勢い」と「高度人材のポテンシャル」を最も強く感じた視察となりました。

社長と専務が同友会会員である(有)佐藤工業所。同友会の学びを自社に落とし込み実践していく報告です。

モノづくりの先にある 笑顔を大切に 会社の方向性を共有する



2人がかりでの溶接作業



有限会社 佐藤工業所
 代表取締役 **佐藤 晃壽** 氏(中央支部)
 専務取締役 **佐藤 美智子** 氏(西支部)

取材=広報情報委員会 文=菅原弘(東支部) 写真=長尾裕美(事務局)

創業

筑紫野市の小高い山間を上ると『有限会社 佐藤工業所』の看板が見えてきました。敷地内にはリズムカルな機械音が響きます。

代表取締役の佐藤晃壽さん(以下・社長)と専務取締役の美智子さん(以下・専務)が揃って取材に応じただきました。

「当社は鉄・ステンレス・アルミなどの金属加工業です」。

社長の祖父の佐藤正光さんが鉄工関係の会社に勤めていて、建築現場の足場やバイクの部品を作っていました。仕事が忙しくなり、太宰府の自宅の裏庭で自ら作り始めたのが創業にあたります。昭和52(1977)年のことです。

その後サラリーマンだった父親の茂さんも家業を手伝うようになりました。敷地が手狭になったため、筑紫野に移転し、さらに法人

化していきます。

お二人のお生い立ち

社長は佐藤家の長男として生まれました。高校を卒業して、車好きであったこと、野球部があったこと、とある石油店に就職します。父親から「会社を手伝ってくれ」と後継者として入社します。「もともと長男は会社を継ぐものだと思っていたので、違和感はありませんでした」。家族総出で深夜まで仕事をしていました。

専務は同年代です。熊本県で生まれ、古賀市にある病院でリハビリに携わり、また大学でも講師として仕事をしていました。共通の知人の紹介で、飲み会で知り合い意気投合して結婚しました。専務はやや遅れて同社に事務として入社しました。

業績は順調に推移しました。大手住宅機器メーカーからのユニットバスの架台

参加者の声

●自分の中の当たり前がアップデート(A氏)

初めての視察参加でしたが、皆様には大変温かく接していただき、心より感謝申し上げます。ピラミッドの圧倒的な存在感や、オールド・カイロで肌で感じた歴史の地層は、日本では得られない貴重な刺激でした。多角的な視点に触れ、自分の中の当たり前がアップデートされるような有意義な視察でした。

●多面性と若いエネルギーを感じた(B氏)

ドバイの都市開発、JICAの国際協力、AUCの教育・研究、そして古代遺跡のスケール。どれも印象深く、エジプトという国の多面性を強く感じました。若い世代のエネルギーにも触れ、今後の国際交流委員会の活動に大きな可能性を感じました。

経由地のドバイにて
(3週間後に後方のホテルが
ドローン攻撃を受ける)



今回の視察のまとめ

今回のエジプトミッションは、国際交流委員会にとって大きな一歩となりました。現地での学びやつながりは、今後の委員会活動に確実に活かされます。

また、帰国後まもなく、経由地であったドバイ空港がイランの攻撃を受けるというニュースが報じられました。わずかな時間差で情勢が大きく変化したことを考えると、国際情勢の不確実性と、海外視察におけるリスク管理の重要性を改めて実感する出来事となりました。

いきます。今回のミッションは終わりではなく、国際交流委員会として中東地域への視察や交流を今後も継続し、会員の皆様に新たなビジネスチャンスを提供していくための第一歩です。

人口1億人の若い国で、日本の信頼が強みになる

その現実を肌で感じた今回の視察は、福岡の中小企業にとっても大きなヒントとなるはずです。

国際交流委員会は、海外視察、国際機関との連携、外国公館との交流を通じて、福岡の中小企業の国際的な視野を広げる活動を今後も継続してまいります。



社員のみなさんと共に

製作を請け、フレームの溶接加工を大量にこなしていました。離職率が高いのが悩みの種でした。

その頃、草野球仲間の板橋優さん（有福岡工業・中央支部）から「同友会で経営の勉強してみないか」と誘われ、中央支部40周年記念行事に行ってみることにしました。

東日本震災で大きな打撃を受けた経営者が「一人の社員も辞めさせない。雇用を守る」と経営者の覚悟の報告でした。社長は感銘

を受け「自分にこんな覚悟があるだろうか」と自問自答しました。そして入会を決意します。例会などに参加し学びを深めていきます。

専務は当初「同友会は『お酒を飲む会』くらいにしか捉えていませんでした。中央支部のブロック会が同社で開かれ、会員が集まりました。現場を見学したのち、懇親会では経営や社員に対する向き合い方など、自社に対して親身なアドバイスやするどい質問に驚きました。「私も経営の勉強がしたい」と心に火が付き入会します。

経営指針書作成

社長は「あすなろ塾」に参加しました。「あなたは何屋さんですか」の質問に、その真意がつかめませんでした。「花屋さんは、単に花を売っているのではなく、花というツールを通してお客様が笑顔になる仕事をしています。」

ているんですよ」。この話に目からウロコが落ちたと言います。金属加工（手段）を通し、お客様に笑顔を届ける（目的）と決意しました。

次のような経営理念をつくりました。
『モノづくりの先にある笑顔を大切に』。
続いて経営指針書作成セミナーにも参加しました。なかなか満足するものができず、2回参加したと言います。

鐘川喜久治さんとの出会い

同友会事務局から「ベルテクネ（株）さん（旧・株鐘川製作所・西支部）を見学しませんか」と誘われ、そこで鐘川喜久治さんと出会い

ます。

同社の経営指針書を見て「会社の方向性を示す」という意味が理解できました。社員を大切にしている、「タイムカードの優等生が必ずしも収益の優等生ではない」と数値化して社員と共有している、5S活動が進んでいる……全てが衝撃の発見の連続でした。

鐘川さんに佐藤工業所に来ていただくようお願いしました。

「1社に仕事を依存してはいけません。社長が社長の仕事をしない。もっとアンテナを張るべきだ」。愛情のある厳しい指摘をいただきました。

また「1社に依存しない経営」「社員が輝く企業」に関する記事の新聞を送ってもらい感動を覚えました。その記事は今でも社内に掲示されています。

社長はさっそく軽トラックに乗って、慣れない飛び込み営業を開始しました。

1社依存体質から脱却するためです。「切斷・検査・出荷をワンストップ体制で行います」と自社の強みをアピールしていききました。「この時期に出した手書きのDMが今でも問い合わせにつながっています」と語ります。従来、溶接は「鉄」のみでした。ベルテクネに社員を派遣して約8か月にわたり鉄以外の金属の溶接を習得してきました。

自社商品開発へ

常にお客様のニーズを聞くようになりました。

大手企業からの仕事は、価格決定権がなく、納期が決められていて、厳しい品質管理が求められます。ある日カメラが送られてきました。これは監視カメラではなく、品質向上に役立てるためのものです。専務は語ります。「大手企業からの厳しい指導があったからこそ

そ、今のスキルの向上があったと思います。その技術を活かして、自社の業務に活かしていこうと考えました。」

コロナ禍を迎え、売上げにも大きな影響が出てきました。世の中にはキッチンカーや移動販売が出てきました。「ここに金属フレームの需要があるのでは」と考え、情報の収集に努めました。これらには将来の展望が見込めないと判断します。しかし業者が買い出しに出るときに、ホテルの宿泊費が高いので車中泊しているという話が出てきました。そこでフレーム加工技術を駆使して、車中泊キック「COOL」を開発しました。「アルミ製で軽く、組立て・収納が簡単、シートアレンジも豊富」を謳い文句に販売開始しました。「この商品の売り方はまだまだ選択肢が多いので現在模索中です」と社長は語ります。

こうして、大手からの仕

事、お客様のニーズに応えた金属加工、自社商品と業務の3本柱ができてきました。

「第2工場をつくることも視野に入れています」と社長は語ります。

会社の方向性を共有

専務はリハビリに携わっていた時に「作業療法士」の資格を取得していました。作業療法とは、心身に障害がある人たちが日常生活に支援を必要とする人に対して、作業を通して治療をする方法です。専務は自社の仕事に適合するようアレンジを考えました。「以前はこちらからの指示で動いていたのですが、社員が個人の目標に向けて自分で考えるようなシステムにしていきました」。年2回の面談で進捗状況を共有します。

経営指針書で社長の考えを成文化し、専務が具体的に社員と向き合う。こうして会社の方向性が定まっ

いきました。それにより離職する社員がなくなったと言います。最近では指針書を社員と共に作成するようになりました。

さらに毎年、社員全員参加で「スローガン」を出し合

い、投票で選びます。昨年「クレーム・ゼロ」を1年間継続しようという目標を掲げ、達成しました。ご褒美に某ホテルで達成の宴会を開催しました。しかし先日この継続が途切れてしまいました。今期のスローガンは「品質を維持する技術 大切なのは人づくり」が選ばれました。

「社員が現状の課題に意識が高くなったと感じました」と専務は目を細めます。

社長は「溶接はもともと男性の仕事」と先入観を持っていましたが、ある派遣の女性社員が溶接をこなしているのを見て、これはできると確信しました。

女性社員を増やし、工程が明確になっている仕事を

短時間でも女性スタッフに任せています。新入りの社員は自ら居残りでステンレスの溶接の練習を志願し、それを見守る先輩がいます。同友会に倣って、委員会制度（マーケティング・生産性向上・技術/研修・5S/カイゼン・レクリエーションなど）を導入し社内の活性化につながっています。

社員が自主的に考え行動する

取材の最後にお二人の考える自立型企業についてお

伺いました。社長は「例えば経営者が不在でも会社がまわる会社でしょうか。私たちが同友会活動に参加しても仕事は成り立っています。その分私たちは学び、それを会社に落とし込んでいきたいです」。専務は「社員が自主的に考えて行動し、外的環境が変化しても乗り越えていく会社だと思います」。二人とも「お客様に感謝された時がうれしいですね。そして社員と夢を達成できる会社にしたいです」と締めたいいただきました。取材協力ありがとうございました。

有限会社佐藤工業所

創業 1977年
住所 筑紫野市山家2060-16
電話 092-926-0889
社員数 9名
事業概要 鋼材加工で主にユニットバスの架台を製作

https://satou-ks.info/



企業情報

第7回 経営実態調査報告書 (2026年1月~3月期)

景況感横ばいも、先行き不安深刻

~中東情勢を読み、自社の事業領域の見直しと資金の確保を~

調査要領	調査時 2026年3月1日~2026年3月31日 対象企業 (一社)福岡県中小企業家同友会 全会員企業2,422社(2月時点) 調査の方法 e.doyu アンケートによる自計方式
回答企業の概要	回答数 425社の回答(回答率17.5%)(農林水産業5社、製造業47社、建設業75社、小売業20社、卸売業31社、サービス業247社) 企業規模 (従業員数) 0名.....84社 1名~5名.....136社 6名~20名.....118社 21名~50名.....51社 51~100名.....24社 101名以上.....11社 企業の所在地 福岡地区(市内) 181社 福岡地区(市外) 57社 北九州地区 50社 筑豊地区 60社 県南地区 62社 県外 15社

概況

「今期業況判断DI値(前年同期比)」は前回調査と比べて1.0ポイント微増して「2.4」と横ばいだった。また、「次期業況判断DI(前期比)」は前回調査と比べ2.8ポイントの微増で、「21.9」となり、見通しは横ばいだった。今期業況判断DIは長期的に見れば横ばい状態で、景況感は「足踏み状態」といえる。

「売上高DI(前年同期比)」は-5.1ポイントとなり「12.4」へ低下した。「売上減少の理由」回答数1位が「国内需要の減少」が31件となった。次いで従来トップだった「営業力の弱体化(19件)」が2位となった。「採算DI(前年同期比)」は「11.3」へ微増し、横ばいではあるものの、コロナ禍後(2023年5月)で最も高い数値となった。採算が「悪化」したと回答した76社のうち、6割(42社)が「売上数量・客数の減少」が採算悪化の理由に回答した。次いで「人件費の上昇」(37社)と「原材料・商品仕入れ額の上昇」(34社)と、3期連続で4割近くが人件費や仕入れ価格・原材料の上昇が利益圧迫の理由にあげられた。「仕入単価DI(前年同期比)」は、「51.5」と仕入単価は引き続き各産業に広がって上昇しているとみられ、次期見通しDIも「49.9」と高水準であり、さらなる上昇局面にあると予測されている。人手不足DIは、「-43.1」と不足感の改善は見られない。「採用が出来ず困っている」との回答企業が85社(20.0%/n=419社)あり、「採用していない」企業を除くと約33.2%と3社に1社にのぼる。

経営上の問題点では「仕入単価の上昇・高止まり」の回答数・割合が最も多くなった(115件、27.1%)。次いで「人件費の増加」が2位で続いた(111件・26.1%)。また、3位は「従業員不足」と前回調査から変わらなかったが、回答件数・割合が増加した(96件、22.6%)。4位には、「同業者相互の価格競争」86件、20.2%と回答数・割合が浮上り、5社に1社程度が市場環境に関わる問題を回答する企業がみられた。

分析会議では、2月28日からのイスラエル・米国のイラン攻撃による石油関連等への影響も議論された。シンナーや建材、包装資材の調達難など、そもそも仕入れが出来ない製品

も出てきており、事業ストップに陥るなど仕入単価上昇より深刻化しかねない問題だと議論された。

- いま取り組むべきこと**
- ① 思いもよらず予測できない影響にも警戒して情報収集を強化すること。
 - ② 価格転嫁ができる、価格決定権を持てる商品・サービスづくりに取り組むこと。
 - ③ 国の施策等も利用しながら資金確保など早めに対策すること。

<円安の影響に関する特別調査>

「現在の円安(1ドル155円前後)」の業績への影響については、「プラスの影響がある」との回答はわずか9社だったのに対し、「マイナスの影響がある」「どちらかといえばマイナス(悪化)の影響がある」をあわせて146社と6割がマイナスの影響があると回答された。マイナスの影響の内容には、「原材料・部品の仕入れが高騰している」が最も多く89件(38.0%)で、次いで「燃料・エネルギーコストが高騰している」が73社(31.2%)だった。自由記述には海外のクラウドサービスのコスト上昇や、海外富裕層による日本の不動産購入に伴う不動産市況の高騰、外国人技能実習生の送り額が減り日本の就労に難色を示すなどの影響が挙げられた。自社にとっての適正な為替レートについては、「わからない・判断できない」企業を除くと、最も回答割合が多かったのは「1ドル120円~130円程度」の回答であり、「現状レベル(1ドル150円~160円)で問題ない」との回答は12社(3.4%)だった。

第7回 経営実態調査報告書



※ DI(ディフュージョン・インデックス): 企業の業況感や設備、人手不足などの各種判断を指数化したもので、景気局面などの全体的な変化の方向性や各経済部門への波及度合いを把握できる「拡散指数」です。計算式(百分率表示)DI = (プラスの構成要素の数(「よい」など) - マイナスの構成要素の数(「悪い」など)) / 構成要素の総数 × 100

特別調査「円安の影響に関する影響調査」

具体的にどのような影響がありますか?(複数選択可) 「マイナス」の影響と回答された方

回答項目	回答総数	回答割合
原材料・部品の仕入れ価格が高騰している	89	38.0%
燃料・エネルギーコスト(電気・ガス・ガソリン代)が高騰している	73	31.2%
仕入れコスト上昇分を販売価格に転嫁できない	38	16.2%
取引先から値下げの圧が強まった	8	3.4%
消費者の節約志向により、売り上げが減少した	26	11.1%
設備投資コスト(輸入機械など)が上昇し、計画を見直した	4	1.7%
その他	17	7.3%
のべ合計	234	—

貴社の事業活動において、採算が合う「適正な為替レート」はどの程度だとお考えですか?

回答項目	回答総数	回答割合
1ドル110円以上の円高	21	6.0%
1ドル110円~120円程度	39	11.2%
1ドル120円~130円程度	54	15.5%
1ドル130円~140円程度	13	3.7%
1ドル140円~150円程度	10	2.9%
現状レベル(1ドル150円~160円)で問題ない	12	3.4%
さらに円安でも構わない(160円以上)	7	2.0%
わからない・判断できない	193	55.3%
合計	349	100%

アドバイザーコメント

九州国際大学 現代ビジネス学部 教授 三輪 仁

今回実施の第7回経営実態調査は、回答期間が「イラン侵攻」の勃発とも重なり、企業を取り巻く外部環境が急変する局面と一致しました。そのため、早期解決への期待が高かった3月上旬と、長期化に伴う石油供給への不安が高まった下旬では回答内容にも変化がうかがえました。

ただし、主要指標の多くは前期から小幅な変化に留まり、足元の景況感は横ばい基調という最近の傾向が維持されていると見受けられます。

回答数は425件で前回から1件増の対会員回答率17.5%と、回答率50%、70%という目標に向け足踏み状態が続いております。ここで回答者を地域別に分けてみますと、今回福岡市内の会員回答数が181件に対し、福岡市外が244件となっており、福岡市内比率は43%と直近数回の調査(第3回52%、第4回48%、第5回49%、第6回49%)と比べ低下しております。支部別にみると、福岡地区の支部においては期ごとの回答数の変動が比較的大きいものに対し、筑豊地区、県南地区において毎期小幅ながらも回答数を増やしている支部が多い傾向が見られます。福岡地区の支部はエリア別ではないことや、周辺市町村の多くの会員も加盟しているなど簡単に二分化できませんが、調査の制度と説得力向上のためにも継続的な回答協力への働き掛けが全体的に拡がることを期待いたします。

主要指標をみていきますと、「今期景況判断DI」は2.4(前期比+1.0)と二期連続の小幅な改善となりました。回答の構成比をみても前期からの顕著な変化は見られません。

「次期業況判断DI」は前期比+2.8の21.9と再び20ポイント台に復帰しました。とはいえ、中東情勢の先行き考慮すると、回答期間がもう少し後ろにずれていたらより慎重な見通しが示されていた可能性も否定できず、先行き判断の不透明性は増しているといえます。

これに対し前期からの下落が目立ったのが売上高関連指標です。「売上高DI(前年同期比)」は-5.1ポイントの12.4、「売上高DI(前期比)」は-8.1ポイントの9.0と、ともに顕著な落ち込みを見せました。売上減少理由としては「国内需要の減少」が圧倒的に多く、景気だけではなく人口減少・高齢化に伴う市場の縮小の影響が顕著に表れ始めて

いる可能性もあります。

採算関連指標は改善傾向を示し、黒字企業の割合は57.9%となっています。経営状況の好転・悪化を評価軸とする「採算(経常利益)DI」は11.3(前年同期比+0.2)、経常利益の黒字・赤字で判断する「今期採算(経常利益)水準DI」は前期比+3.4である38.2と続伸し第1回経営実態調査実施以降で僅かながらも最高値更新(第2回37.8)となりました。

仕入単価DIは51.5(-0.6ポイント)、販売・客単価DIは32.0(-0.6ポイント)といずれも前期から横ばいで、両者のギャップ幅は19.5で変動しませんでした。「人手不足DI」も前期からほぼ横ばい(+0.3ポイント)であるものの、-43.1と極めて深刻な人手不足状態となっております。

資金繰りDIは二期連続で続伸し3.4となっております。ただし、資金繰りが「窮屈」との回答比率は3.1ポイント増(11.6%)と二極化が進行している点が懸念されます。日銀においても円安やインフレ抑制を図るべく更なる政策金利引き上げを推す声は強く、その動向によっては中小企業の資金調達へ一段の影響が及ぶ可能性があります。

「経営上の問題点」においては、「仕入単価の上昇・高止まり」(27.1%)「人件費増加」(26.1%)と直接費負担の高まりを挙げる声が多く、次いで「従業員の不足」(22.6%)「同業者相互の価格競争」(20.2%)と続き、人手不足や価格転嫁の難しい中での厳しい経営環境がうかがえます。「仕入単価の上昇・高止まり」は「製造業(51.1%)」「小売業(45.0%)」などで特に高くなっており、原油不足に起因する原材料・製品の品不足は仕入れ価格上昇の域を超え、大企業であっても新規受注の一時停止を余儀なくされるほどの調達リスク急騰に達しています。今回の中東情勢の悪化に伴い、リスク志向の金融経済に実体経済が翻弄される様相が強くなっており、資材調達を巡る環境悪化は長引く可能性もあります。コロナ禍で経験したように、事態が収束した頃には人口減少、市場の縮小と構造変化が進行し、経営環境が様変わりしているということにもなりかねません。先を見越した市場予測と事業領域の見直し、資金確保など、素早い判断が求められる、先送りの許されない情勢となっているといえるでしょう。

4月23日(木)開催
参加した新会員▶32人

NEXT

6月25日 木
ご参加を
お待ちしております。



2025年度 第12回 理事会議事録

理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

開催日時 4月8日(水) 14時30分~17時03分
出席数 34名(出席率87.2%)

会場 福岡県中小企業振興センター401会議室
議長 北原 正

[審議事項・協議事項]

1 入退会審査

入会16名、退会26名が承認され、4月承認会員数は2,457名となった。また移籍3名が確認された。

2 「全体構想」について

5月からは理事会で福岡同友会の「組織」の議論をはじめたい。2030 ビジョンを実現するための「活動」を具体的に進める「組織」につき次回理事会から議論し、組織の議論がある程度固まってきたら財政や事務局の議論へと進めることが承認された。

3 2026年度に向けて

①2025年度活動総括(案)→承認された。
②2026年度情勢、運動方針(案)→承認された。
③2025年度決算見直し、2026年度予算案→承認された。
④2026年度組織図(案)、活動計画(案)→承認された。
⑤第64回定時総会について
総会当日の進行確認、および分科会、マルシェのPRと参加の呼びかけ、参加促進、参加目標達成にどのように取り組むか意見交換を行った。参加の声かけと併せて欠席時の委任状提出につき再度呼びかけられた。週2回程度成立状況をメールで理事に共有し、ゴールデンウィーク前の過半数達成をめざし取り組むことが確認された。

4 福岡地区より

2027年定時総会会場選定につき①総会部分の予算上限を150万円②交流会参加費を13,000円以内③博多駅近郊の3つを条件として福岡地区に一任することが承認された。

5 全国行事参加目標について

2026年7/9~10に開催される中同協第58回定時総会 in 静岡の代議員目標 25名、また2026年6/4~5に開催される第29回女性経営者全国交流会 in 兵庫参加目標数について参加目標 15名とすることが承認された。

6 会員企業の動き

■経営革新計画承認企業
3月承認分未発表のため、5月理事会で紹介する。
■表彰など
●飯塚市合併20周年記念式典・みんなのまちづくりフェスタ2026
令和7年度市勢振興功労者表彰
鶴田 和寿さん(コースイ(株)/飯塚支部)
■報道記事など
●2026年3月31日西日本新聞
(南一柳 納富 輝子さん(福友愛支部))
●2026年4月 3日西日本新聞
4月1日福岡同友会新入社員合同入社式



西支部50周年記念例会

西支部の歴史を振り返って
西支部全員で未来へつなげよう

2026年3月18日、レストランひらまつにて西支部50周年行事を開催しました。参加者は95名。

西支部の50年を振り返る報告では、日研の末竹取締役会長が会を卒業された方々や会歴の古い方々に直接足を運んで話を伺い、その生の声を創立期からの資料と合わせてお話いただきました。また、会歴の古い5名の会員から、西支部の歴史を振り返るコメントも、50周年の行事に花を添えました。

第二部では、現在西支部を盛り上げている会員によるアトラクションを楽しみ、西支部の絆と新たな歴史を再確認しました。



末竹会長による報告



姫島支部長の挨拶





同友すばる委員会

6 土 事業承継塾第1講
14:00~17:00

電気ビル本館 地下2階 7号会議室
福岡市中央区渡辺通2-1-82
☎ 0120-222-084
事業承継総論
～事業承継計画書の作り方～
■ 傳田 潤一 氏
福岡県事業承継・引継ぎ支援センター
サブマネージャー (会外)

11 木 福博支部6月例会
18:30~20:30

天神チクモクビル 大ホール
福岡市中央区天神3-10-27
☎ 092-715-3250
つながる、ひろがる、福博支部(仮)
自社PR発表会

11 木 ひびき支部6月例会
18:30~21:00

コムシティ大会議室
北九州市八幡西区黒崎3-15-3
☎ 093-641-9360
今の時代に本当に必要な変化とは?
変化に向き合い、やり抜く経営の実践!
■ 竹谷 聖 氏
占部大観堂製菓株式会社 取締役
(東支部)

13 土 玄海支部6月例会

源じいの森キャンプ場
福岡県田川郡赤村赤6933-1
☎ 0947-62-2911
自然の中で防災を学ぼう
リフレッシュと防災
■ 都地ブロックメンバー

15 木 有明支部6月例会
11:00~

株式会社庄分酢
大川市榎津548の1
☎ 0944-88-1535
企業見学会

共同求人委員会

15 月 共同求人6月勉強会
16:00~18:00

福岡県中小企業振興センタービル
403会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡
県中小企業振興センタービル11F
☎ 092-686-1234
社員と作るタッチポイント設計による
採用ブランディング
「採用は、未来をつくる経営実践。」
■ 林田 選 氏
株式会社彩ーいろいろー
代表取締役 (東支部)

15 木 東支部6月例会
18:00~21:00

福岡県中小企業振興センタービル
401会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15
☎ 092-622-6230
「どん底からドラマが始まる」
～人を生かす経営の実践
■ 井上 明 氏
富士食品株式会社 代表取締役社長
(東支部)

16 火 福友和支部6月例会
18:20~20:50

アクア博多 A 会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎ 092-263-4770
WEB会議システム「Zoom」
(ZoomミーティングID等は別途連絡)
ひとりで悩まなくていいんだよ
～本音で語る経営者のリアル～
■ 王 愛 氏
有限会社五十番食品 代表取締役
(福友和支部)

16 火 博多支部6月例会
18:30~21:00

天神クリスタルビル Aホール
福岡市中央区天神4-6-7-3F
☎ 092-733-1310
その会社、
だれが最後に責任をとりますか?
事業承継・売却・廃業の決断
■ 光山 聡 氏
株式会社GCCJapan 代表取締役
(博多支部)

16 火 福友愛支部6月例会
18:30~21:00

八重洲博多ビル Aホール
福岡市博多区博多駅東2丁目18-30
☎ 092-733-1310
WEB会議システム「Zoom」
(ZoomミーティングID等は別途連絡)
踏み出す一歩が未来を紡ぐ
～思い出の着物から新たな価値を～
■ 高城 健史 氏
株式会社美術しみぬき家紋高瀬
代表取締役 (福友愛支部)

16 火 かすや支部6月例会
18:30~21:00

福岡同友会事務局全体会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル11F
☎ 092-686-1234
同友会を知る会
■ 江副 貴子 氏
A DAY IN THE LIFE 代表者
(かすや支部)
■ 岡部 圭裕 氏
岡部税理士事務所 税理士
(かすや支部)

16 火 北九州支部6月例会

コムシティ大会議室
北九州市八幡西区黒崎3-15-3
☎ 093-641-9360
WEB会議システム「Zoom」
(ZoomミーティングID等は別途連絡)
二代にわたる実体験から学ぶ
「事業承継」の現実と準備
■ 兼竹 義彦 氏
有限会社カネタケ 代表取締役社長
(北九州支部)

16 火 糸島支部6月例会
18:30~20:15

グローバルホテル糸島
糸島市泊844-1
☎ 092-332-9600
本音で話せる繋がりを力に
～糸島同友会を知る会～
■ 重富 創一郎 氏
株式会社重富プラス
代表取締役社長 (糸島支部)
■ 仲西 祐弥 氏
株式会社庭八
代表取締役 (糸島支部)
■ 白石 雄士 氏
株式会社博多印刷 代表取締役
(糸島支部)

17 水 中央支部6月例会
18:20~20:45

アクア博多B会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎ 092-263-4770
逆境を越えて築く100%黒字経営
～コロナ期の経営実践と同友会の学びが
導いた持続的成長～
■ 東 和範 氏
株式会社九州トラベルサービス
代表取締役会長

17 水 西支部6月例会
18:30~20:40

アクア博多 A 会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎ 092-263-4770
西支部まるわかり例会
～活動と仲間を知る～

17 水 大牟田支部6月例会
19:00~21:00

グランドホテル清風荘
大牟田市原山町2-4
☎ 0944-56-1212
経営者のための生成 AI
～実例で学ぶ～
■ 柿元 千徳 氏
パーシモンズ 代表者
(りょうちく支部)

18 木 筑紫支部6月例会
18:00~19:50

大観荘
筑紫野市湯町1丁目12-1
☎ 092-922-3236
若手経営者の思いと未来
～経営指針作成セミナーに参加してから～
■ 筑紫支部会員4名

18 木 りょうちく支部6月例会
18:30~20:30(予定)

るり色ふるさと館
うきは市吉井町983-1
☎ 0943-75-3343
新たな仲間たちの実践から学ぶ!
～支部新入会員によるリアルな現状報告と、
共に考える未来～

企業連携推進委員会 FAST

19 金 FAST6月例会
18:20~20:30

福岡同友会事務局全体会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル11F
☎ 092-686-1234
2026年度 企業連携推進委員会
FAST 連続ミニセミナー
小さな会社が業績を上げる連続セミナー
■ 深見 信吾 氏
深見経営株式会社 代表取締役
(東支部)

22 月 筑豊地区3支部合同例会
18:30~21:00

ユメニティのおがた
直方市山部364-4
☎ 0949-25-1007

23 火 南支部6月例会
18:30~20:50

アクア博多 A 会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎ 092-263-4770
新会員歓迎のつどい
■ 西留 広太郎 氏
クリエイティブキャンパス 代表者 (南支部)
■ 中嶋 浩一朗 氏
株式会社ベストエフォート 代表取締役
(南支部)

青年経営者部会

24 水 オール福岡青年部
18:30~21:30

福岡県中小企業振興センタービル
301会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15
☎ 092-686-1234
「汗をかく青年部活動が、自社と自分
を変える」
ー 主体者を生み出す組織づくりー
■ 中野 愛一郎 氏
株式会社イベント21
代表取締役社長 (奈良同友会)

※青年支部6月例会は
「オール福岡青年部」に振替です。

26 金 久留米支部6月例会
18:30~20:30

ハイネスホテル久留米
久留米市天神町1-6
☎ 0942-32-7211
県の委員会を学ぶ
地域に欠かせない企業を目指そう



『中小企業ってなんしょ〜と?』とは中小企業の魅力発信を目的とした事務局作成の小冊子です。

Vol.7は創業100年以上の歴史を持つ老舗企業を集めた『100年企業特集』です。創業からの長い歴史の中で何度となく起きた社会や経営環境の大きな変化に向き合い、事業を存続し発展させてきた企業10社を紹介しています。各社がどう危機を乗り越え、事業を革新してきたのか?現在の事業展開や未来へ向けた展望、想いなどをお聞きました。

Vol.8は「オンリーワン・ナンバーワン企業」と題し、企業理念を大切にしながら時代の変化に柔軟に対応し、新事業・新市場を模索してシェアナンバーワンやオンリーワンの商品・サービス・事業を展開してきた企業10社を紹介しています。他社には簡単に真似できない技術やアイデアで“らしさ”を發揮し、差別化を図っている企業の特集です。ぜひご覧ください!

『中小企業ってなんしょ〜と?』

Vol.7、Vol.8を発刊しました!

文・写真:同友会事務局

冊子をご希望の方は
事務局までお問い合わせください

『中小企業ってなんしょ〜と?』は事務局ブログにも掲載しています。ブログには行事の開催報告や会員企業の紹介記事等も掲載していますので合わせてご覧ください!



取材にご協力いただいた皆様

Vol.7 100年企業特集

- | | |
|------------|-----------------|
| 占部大観堂製菓(株) | 竹谷 聖さん(東支部) |
| (株)谷弥 | 谷 弥寿彦さん(のおがた支部) |
| (株)小林組 | 小林 亮介さん(北九州支部) |
| (株)キシヤ | 緒方 裕輔さん(南支部) |
| 西門蒲鉾本店 | 上田 啓蔵さん(玄海支部) |
| 蛭子屋(名) | 安藤 祐基さん(飯塚支部) |
| (有)宮本旗店 | 兼光 一輔さん(北九州支部) |
| (有)一柳 | 納富 輝子さん(福友愛支部) |
| クロボー製菓(株) | 岡田 宗土さん(久留米支部) |
| (株)緒方佛壇本店 | 緒方 優さん(福友愛支部) |
| | 緒方 容栄さん(福友和支部) |

Vol.8 オンリーワン・ ナンバーワン企業特集

- | | |
|---------------|-----------------|
| (株)龍クリーニング | 龍 大次郎さん(大牟田支部) |
| (株)マツシマメジャテック | 池田 憲俊さん(北九州支部) |
| (株)九食 | 西島 六気さん(筑紫支部) |
| シーエススチール(株) | 松原 庸仁さん(青年支部) |
| (株)イナバ | 稲葉 雄大さん(久留米支部) |
| (株)村上精機工作所 | 橋本 尚二さん(のおがた支部) |
| (株)亀蜜本社・亀草庵 | 藤江 敬子さん(のおがた支部) |
| (株)大建 | 松尾 憲親さん(東支部) |
| P&Cプランニング(株) | 上田 あい子さん(福博支部) |
| (株)エフ・ティ・シー通信 | 岩本 博さん(東支部) |
| | 岩本 太郎さん(東支部) |

2026年6月1日発行(毎月1回・1日発行)

福岡同友会

<https://www.fukuoka.doyu.jp/>

アンケートにご協力ください 回答締切 6月30日(火)

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。(所要時間 4分)



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366